

572. 線状函数方程式 = 就イテ (IV)

北川 敏 男 (阪大)

1. (I) - (III) = 於イテ、若干ノ *spectral properties* ヲ具ヘタ基本作用素 \mathcal{O} が興ヘラレテキルトシ、コレト或ル意味ヲ可換ナル作用素 $\Gamma =$ 関シ函数方程式

$$(1) \quad \Gamma f(x) = 0 \quad (x \in X)$$

ヲ考ヘテ來タ。 \mathcal{O} 及ビ $\Gamma =$ 色々ナ条件ヲ附加スルコト = ヨリ、線状移動可能函数方程式即チ \mathcal{O} が微分演算デアリ從ツテ Γ ハ *linear translatable operator* デアルトコロノ (1) ノ特別ノ場合 = 於イテヨク知ラレタ基本定理ノ拡張が得ラレルコトガ余ツタ⁽¹⁾。ソノ間、類似ハ顯著デアアル。ソコデ、何故コウシタ *parallelism* が成立スルカトイフソノ根據ヲ知リタイ。

(1) 勿論吾々ハ何時マデモ *parallelism* = 満足スベキデアナイ。シカシ、第一段階トシテソレヲナサネバナラナイデアラウ。

次 = 問題ノ Formulation カラ明ラカデアルヌウ = , 作用素ノ可換環ト密接ナ関係ガアル。(2) ソコデ今マデ知ラレテキルソレノ理論ト如何ナル関係 = アルカゴ問題 = ナル。ソレヲ = 就テ少シ述ベテ見タイ。

2. Volterra-Péres' Composition⁽³⁾

$$(2) \quad \overset{**}{F} \overset{**}{G} = \int_x^y \overset{**}{F}(x, t) \overset{**}{G}(t, y) dt$$

= 於テ今決ヘラレタ一定ノ $\overset{**}{F}(x, y)$ ガ $0 \leq x \leq y \leq a$ デ定義サレテ "forme canonique" デアルトスル。(4) $\overset{**}{G}(x, y)$ ⁽⁵⁾ ガコノ $\overset{**}{F}(x, y)$ ト可換デアルトスル。即チ $\overset{**}{F} \overset{**}{G} = \overset{**}{G} \overset{**}{F}$ ナリトスルト

$$(3) \quad \overset{**}{G}(x, y) = \lambda(y-x) + \int_0^{y-x} \lambda(\xi) \Phi(\xi; x, y) d\xi$$

(2) $\overset{**}{F}_1, \overset{**}{F}_2$ カ夫々可換ナルトキ, ソレヲ同志ガ又可換ナルコト = ハ勿論イロイロノ条件ヲ要スル。最初カラ考ヘラキル函数集合 (A), (B), (C) = 依存シテノ話 = ナルカラソレハ相當ニムツカシイデマロト思ハレル。

(3) Volterra-Péres, *Leçons sur la composition et les fonction permutables*. コレヲ以下 [C] デ示ス。

(4) [C] p.37 ヲミラレヨ。 $\frac{\partial^2 \overset{**}{F}}{\partial x \partial y}$ ガ存在シテ連続且ツ

$$\overset{**}{F}(x, x) = 1, \quad \left(\frac{\partial \overset{**}{F}}{\partial x} \right)_{y=x} = \left(\frac{\partial \overset{**}{F}}{\partial y} \right)_{y=x} = 0$$

トナツテキルコトデアル。

(5) $\overset{**}{G}(x, y)$ ハ (x, y) = 関シテ連続。([C] p.39)

ナル関係ヲミナス $\lambda(\xi)$, 重が存在スル。コトニ重ハ F カラ決定サレル。

$\lambda(\xi)$ ハ $Q(x, y) = 1$ ニ depend スル。 (3) ヲ $\mathcal{S}(\lambda)$ ナ表ハス。⁽⁶⁾ 又任意ノ連続函数 $\lambda(\xi) = 1$ 對シテ (3) ハ F ト *permutable* ナ作用素ヲアタヘル。⁽⁷⁾ コトニ

(i) 変換 \mathcal{S} ハ composition ヲ conserve スル。

$$(4) \mathcal{S}^*(\lambda) \mathcal{S}^*(\mu) = \mathcal{S}^*(\lambda \mu)$$

デアアル。コノコトカラ次ノ事ヲウケル。

(ii) $F(x, y)$ ト *permutable* ナ $G_1(x, y), G_2(x, y)$ ハ相互ニ *permutable* デアル。従ツテ可換環ヲツクル。⁽⁸⁾

今、コノ可換環ニツイテ、(I) — (III) ノ Formulation ヲ當テハメテ見ル。コレガコノ談話ノ目的デアアル。

3. $1^{*n} = \frac{(y-x)^n}{n!}$ デアル。コレヲ、 x ヲ始点、 y ヲ変

數トシテ考ヘルトキ $\left\{ \frac{(y-x)^n}{n!} \right\}$ ハ次ノ性質ヲモツ：

$$\frac{d}{dy} \left\{ \frac{(y-x)^n}{n!} \right\} = \frac{(y-x)^{n-1}}{(n-1)!}$$

コノ性質ニ着眼シテ $\left\{ F^{*n+1}(x, y) \right\}$ ナル函数系列ニ於テコレ

(6) [C] p. 42 及び p. 56.

(7) 式 (3) ヲ *Péres* ノ変換トイフ。 [C] p. 65.

(8) $G(x, y)$ ハ $(x, y) = 1$ 間ニテ連続トシタ。 $F(x, y)$ ト可換ナルカナル G ノ全体ハ可換環デアアル。然ルニ、色々ナ問題ヲ解ク必要上、 $G(x, y)$ ヲ $(x, y) = 1$ 間ニテ連続トスルト、狭スギル。ソコデコノ環ノ拡張 (*Topological* ナ) ガ重要ナ問題デアアル。

ヲ x ヲ 始 点, y ヲ 変 数 ト シ タ ト キ

$$(5) \quad \mathcal{D}_y \left[F^{*n+1}(x, y) \right] = F^{*n}(x, y)$$

ト ナ ル ヤ ヨ ナ *linear operation* ヲ 求 メ テ ミ ル。 \mathcal{D}_y ヲ 次 ノ 如 ク 定 義 ス ル。

定 義 1. $G(x, y)$ ヲ $F(x, y)$ ト 可 換 ナ リ ト ス ル。

(3) = ヨ ツ テ $G(x, y) =$ 對 應 ス ル λ が 微 分 可 能 デ ア ル ト ス ル。

然 ル ト キ $\mathcal{D}_y \{ G(x, y) \}$ ハ 存 在 シ, 次 ノ 式 ヲ 與 ヘ ラ レ ル:

$$(6) \quad \mathcal{D}_y \{ G(x, y) \} \equiv \mathcal{D}_y \mathcal{O}(\lambda) \equiv \mathcal{O} \left(\frac{d\lambda}{dy} \right)$$

然 ル ト キ 次 ノ 事 柄 ハ 容 易 = 得 ラ レ ル:

定 理 1. 任 意 ノ x, y ($0 \leq x \leq y \leq a$) = 對 シ テ

$$(7) \quad \mathcal{D}_y \left\{ F^{*n+1}(x, y) \right\} = F^{*n}(x, y) \quad (n=0, 1, 2, \dots) \quad (9)$$

定 理 2. 級 數

$$(8) \quad f_\lambda(x, y) \equiv \sum_{n=0}^{\infty} \lambda^n F^{*n+1}(x, y)$$

= ヨ ツ テ 定 義 サ レ ル 函 數 ハ タ シ カ = 存 在 シ, λ ノ 整 函 數 デ ア

(9) 証 明 容 易。

(10) $\left| F^{*n+1}(x, y) \right| \leq \frac{|y-x|^n}{n!} \left\{ 1 + \frac{M\theta|y-x|}{n} \right\}$ ナ ル 関 係 式⁽¹⁰⁾ が 幅 ヲ 利 カ ス。 コ レ ハ [C] p. 67 = 與 ヘ ラ レ テ キ ル。 尚 (7) 及 ビ コ ノ 評 価 カ ラ, $\{ F^{*n+1}(x, y) \}$ ハ 点 $x = \text{adjoint}$ シ タ y ノ 函 數 ト ミ ル ト キ, 吾 々 が (III) = 於 テ 述 ベ タ ト コ ロ ノ Sheffer ノ 函 數 系 ト ミ ラ レ ル コ ト ヲ 注 意 ス ル。

リ、任意、 $\lambda = \text{ツイテ}$

$$(9) \quad d_y \{ j_\lambda(x, y) \} = \lambda j_\lambda(x, y)$$

次 = 各 t ($0 \leq t \leq a$) = 對シテコレヲ座トシテノ三ツノ
函数集合 (A_F^t) , (B_F^t) 及ビ (C_F^t) ヲ定義スル:

定義 2. $\left\{ \begin{array}{l} 1^\circ (A_F^t) \text{ ハ考フル可換環全体。} \\ 2^\circ (B_F^t) \text{ ハ } (A_F^t) \text{ = 属シ } d_y \{ G(x, y) \} \text{ ガ(定} \\ \text{義 1 = ヨツヲ與ヘラレルモノノ全体。} \\ 3^\circ (C_F^t) \text{ ハ } (B_F^t) \text{ = 属シ、考ヘル点 } x = \tau \\ G(x, x) = 0 \text{ トナツテキル } G(x, y) \text{ ノ} \\ \text{全体。} \end{array} \right.$

(3) = ヨリ $\lambda(\xi)$ ($0 \leq \xi \leq a$) ト $G(x, y)$ ($0 \leq x \leq y \leq a$) トガ一對一 = 對應シテキルコト = 注意スル。

定理 3. 線状作用素 d_y ハ (A_F^t) , (B_F^t) , (C_F^t) = 於テ、
次ノ如ク spectral properties = 關シテニツノ單一性
ヲ有スル:

[I] $G(x, y) \in (B_F^t)$ = シテ且ツ $d_y \{ G(x, y) \} = \lambda G(x, y)$ ヲ満足スルモノハ $h j_\lambda(x, y)$ ($h = \text{常数}$) = 限ル。

[II] $G(x, y) \in (A_F^t)$ = 任意 = 與ヘルトキ

$$(11) \quad d_y \{ H(x, y) \} = \lambda H(x, y) + G(x, y)$$

ヲ満足スル $H(x, y) \in (C_F^t)$ = 於イテ一ツ而シテ唯一ツ
存在スル。

ソコデ

定義 3. (11) = 於ケル $H(x, y)$ ヲバ $L_\lambda t [G(x, y)]$ ヲ

表ハス。

以上ニヨリ、Volterra-Périsノ可換環ノ理論ヲ
(I) - (III)ノ方式ニ入レルコトハ出来タト思フ。

4. 以上考ヘスハ、所謂 order 1ノ核 $F(x, y)$ = 就
イテデアル、一般ノ場合即チ order $n (> 1)$ ノトキニハ、
以上ノマウナ事柄ガソウ容易ニハ行カナイマウデアル。